

企画番号 2025-24

動画を通して世の中の周知されていない環境問題を伝える

代表者 Y230825 延山依央菜

メンバー Y230763 後藤康太 Y230800 木村萌生 Y230832 桑原侑大

アドバイザー教員 丸山敦先生

1.目的

環境問題に対する社会的関心は高まりつつあり、地球環境の持続可能性を守る責任の一部は今を生きる私たち自身に課せられている。温暖化、水資源の枯渇、生物多様性の損失といったテーマはすでに多くの作品で扱われてきたことから本企画は空気汚染に対して着目した。この現状と危機感を広く社会に広めるために SNS という拡散性の高い媒体を活用する。そして、視覚的にかつ感情的に訴えるために、AC ジャパンの広告学生賞への応募を活動目標として設定した。応募することで、社会により強いメッセージを発信するとともに、プロの視点から評価を受ける機会を得られると考えた。

2.活動内容

週に一度全員で集まり、構成案について議論を重ね、「空気を売る」というコンセプトを設定した。構成案を作成する前にまず空気に対してどのような考えを持っているのかを明らかにするため年齢性別問わずアンケート調査を行った。このアンケート調査の結果を基に構成案の作成を始め、考えた構成案を知能情報メディア課程の岩嶋浩樹先生のご指導のもと、さまざまなパターンの構成案を検討した。また、さらに内容をより良いものにするため、同じく知能情報メディア課程の外村佳伸先生にもご指導頂いた。

3.調査方法

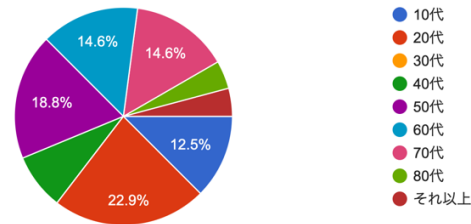
調査方法として、大気汚染が生態系に及ぼす影響について理解を深めるために、環境科学課程の先生方に話を伺った。特に、生き物や植物への悪影響、また「空気を売る」という視点から見た環境問題への考え方について伺った。

実態把握としてアンケート調査およびインタビューを実施し、大気汚染の意識レベルを明らかにした。

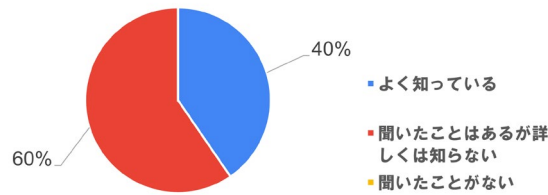
4.結果

今回 48 人、10 代から 80 代以上の多くの人々からの回答が得られた。年齢構成は以下の通りである。

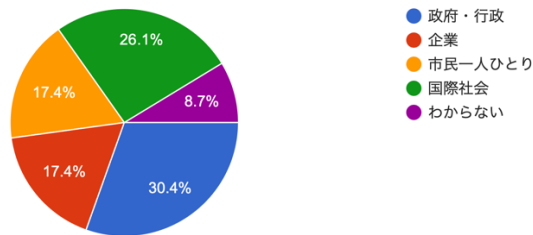
Q11. あなたの年齢を教えてください
48 件の回答



「PM2.5」や「光化学スモッグ」という言葉をどの程度知っていますか？

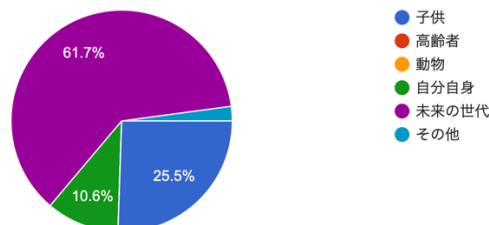


Q7. 大気汚染の改善に最も責任があると思うのは誰ですか？（単一選択）
46 件の回答



今回行ったアンケートから「大気汚染の改善に最も責任があると思うのは誰ですか？」の項目を見ると環境問題に対する市民の依存や第三者への信賴的な姿勢がわかる

Q3. 大気汚染によって最も影響を受けるのは誰だと思いますか？（単一選択）
47 件の回答



さらに、大気汚染によって最も影響を受けるのは未来の世代だと考えている人が約6割もいることが分かった。この結果から、私たちは安心安全な未来のため環境問題の啓発動画の作成を行い人々の意識を変化していく必要があると強く感じた。

5. 考察

第三者への責任集中は「自分たちができることは限られている」という依存的態度の現れであることがうかがえる。このことから、第三者(行政や企業、国際社会)の対応も大切であるが、私たち市民一人ひとりにも責任があることを動画を通して伝えるべき決定的な証拠とも言えるだろう。

6. 結論・今後の展望

今回のプロジェクトリサーチでは動画の完成までは至っていない。今後はアンケートの結果・考察をもとに空気汚染に対する社会の危機意識の不足している部分を捉えた動画を制作し、ACジャパン広告学生賞へ応募する。さらに日々の通勤や買い物など、身近なシーンから汚染の実態を物語形式で描くことで将来への影響の共感及び危機感を引き出す。作成した動画は SNS を通じて広く発信し、多くの人に「自分事」として受け止めてもらえることを目指す。